

シラバス

2023年度版



鍼灸医療科第二部 3年

学校法人 赤門宏志学院

仙台赤門医療専門学校

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	国分 壮一 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 3年
科目名	東洋医学臨床論 I	曜日・時間	月曜日 17:40～

【授業概要・目標】
西洋医学的に授業を進めるので、症状や病態を理解する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	西洋医学的に病証を理解する
2	総論(授業の進め方)
3	1.頭痛
4	2.顔面痛 3.顔面麻痺
5	4.歯痛 5.眼精疲労 6.鼻閉・鼻汁
6	7.脱毛症 8.めまい 9.耳鳴りと難聴
7	10.咳嗽 11.喘息
8	12.胸痛
9	13.腹痛
10	14.悪心と嘔吐 15.便秘と下痢
11	16.月経異常
12	19.肩こり 20.頸肩腕痛(1)
13	19.肩こり 20.頸肩腕痛(2)
14	21.肩関節痛 22.上肢痛
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	17.排尿障害 18.インポテンツ
2	23.腰下肢痛(1)
3	23.腰下肢痛(2)
4	23.腰下肢痛(3)
5	24.膝痛(1)
6	24.膝痛(2)
7	25.運動麻痺
8	26.高血圧症 27.低血圧症
9	28.食欲不信 29.肥満 30.発熱
10	31.のぼせと冷え 32.不眠 33.疲労と倦怠
11	34.発疹
12	35.スポーツ医学(1)
13	35.スポーツ医学(2)
14	36.老年医学
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	出席・定期試験(2回実施)により評価する。
授業の進め方	配布するプリントとプレゼンテーションにより行う。
注意 (学生に望むこと)	配布プリントを予習して、授業中に理解できるように集中して聞いてほしい。 また復習が望ましい。
テキスト・参考書	指定された教科書を用いる。

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	国分 壮一 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 3年
科目名	鍼灸臨床実技 I	曜日・時間	月曜日 19:15～

【授業概要・目標】 患者の診断と治療について、訓練する。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	実技のオリエンテーション
2	患者への対応とベットサイドの対応を訓練する
3	頸部と肩上部の見方
4	腰部の見方
5	下肢の見方
6	カルテの記入法 I
7	カルテの記入法 II
8	実技の訓練
9	実技の訓練
10	実技の訓練
11	実技の訓練
12	実技の訓練
13	実技の訓練
14	前期実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	症例形式の実技
2	症例形式の実技
3	症例形式の実技
4	症例形式の実技
5	実技の訓練
6	症例形式の実技
7	症例形式の実技
8	症例形式の実技
9	症例形式の実技
10	症例形式の実技
11	症例形式の実技
12	症例形式の実技
13	症例形式の実技
14	後期実技試験
15	評価点検

評価方法	出席・定期試験により評価する。
授業の進め方	11月に行われる認定試験の実技訓練を主に行う。
注意 (学生に望むこと)	実技、特に灸について行う。
テキスト・参考書	なし

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	萱場 公雄	学科・年	鍼灸医療科第二部 3年
科目名	関係法規	曜日・時間	火曜日 17:40～

【授業概要・目標】
 保健医療福祉制度の中におけるあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師の位置付けや職業倫理について理解を深める。生涯を通じて、健康や障害の状況に応じて社会資源を活用できるように必要な知識と基礎的な能力を養うことを目標とする。
 医療法、医師法等の医事法の体系の中での「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律」、社会保障法、社会福祉関係法について学ぶ。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	関係法規入門(1) 関係法規とは、関係法規と医事法(学)
2	(2)法の概念,法の領域,法の存在形式
3	(3)法秩序の構成原理,法の解釈
4	医療法(1)医療法の概要,医療法の目的, 医療提供の理念,医療関係者の責務
5	(2)医療提供施設の種類と定義, 類似名称の使用制限
6	(3)医療提供施設の要件, 法定人員,構造設備の基準等
7	(4)医療提供施設の管理監督等, 医業等の広告の制限
8	(5)医療計画,医療法人,地域医療連携 推進法人,医療審議会,地域保健法
9	医師法(1) 医師法の概要,資格法,臨床研修
10	(2)業務法,医業と医業類似行為
11	(3)義務法,罰則,秘密保持義務
12	他の医療関係者に関する法律(1) 歯科医師法,保健師助産師看護師法, 診療放射線技師法,臨床検査技師等法
13	(2)理学療法士及び作業療法士法, 視能訓練士法,言語聴覚士法, 臨床工学技士法
14	(3)義肢装具士法,救急救命士法,歯科衛 生士法,歯科技工士法,柔道整復師法 医師と他の医療関係者の業務の関係, 名称独占と業務独占
◆	前期試験(試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	あん摩マッサージ指圧師,はり師,きゆう師 等に関する法律(1)法律の沿革,法制定の 目的,指定試験(登録)機関の指定
2	(2)指定試験(登録)機関が試験(登録) 事務を行うときの規定の適用
3	(3)免許,免許の取得と取消,名簿, 登録事務,学校・養成施設,試験
4	(4)施術者の業務,守秘義務等
5	(5)施術所に関する規制,広告の制限, 免許取消と業務停止
6	(6)罰則,両罰規定
7	(7)医業類似行為とその規制, 医業類似行為に関する判例
8	その他の関係法規(1)-予防衛生法規,薬 事関係法規-感染症の予防及び感染症 の患者に対する医療に関する法律,予防 接種法,医薬品医療機器等法,薬剤師法
9	(2)-保健衛生法規-健康増進法,母子保 健法,母体保護法,精神保健及び精神障 害者福祉に関する法律
10	(3)-社会保障関係法規-健康保険法,高 齢者の医療の確保に関する法律, 介護保険法
11	(4)-社会福祉関係法規-社会福祉法,生 活保護法,老人福祉法,児童福祉法
12	(5)障害者基本法,障害者の日常生活及び 社会生活を総合的に支援するための法 律
13	(6)身体障害者福祉法, 知的障害者福祉法,発達障害者支援法
14	個人情報保護法
◆	後期試験(試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	前期、後期の筆記試験による評価。前期試験は、記述問題と選択問題、後期試験は、国家試験に準じた選択問題とする。
授業の進め方	講義方式。医療六法の条文を読み理解する。
注意(学生に望むこと)	授業中の私語は厳禁とする。基本的なマナーを守ること。
テキスト・参考書	必要に応じて、レジュメを配布する。 医療六法令和5年版(必携) 前田和彦監修 関係法規 医歯薬出版

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	高橋 武彦 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 3年
科目名	リハビリテーション医学	曜日・時間	火曜日 19:15～

【授業概要・目標】
 リハビリテーション医学の基礎的な概念や評価法等を学び、障害発生に関連する疾患への対応を知る。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	リハビリテーションと障害-1
3	リハビリテーションと障害-2
4	リハビリテーション医学と医療-1
5	リハビリテーション医学と医療-2
6	障害の評価-1
7	障害の評価-2
8	障害の評価-3
9	医学的リハビリテーション-1
10	医学的リハビリテーション-2
11	医学的リハビリテーション-3
12	医学的リハビリテーション-4
13	前期総合復習-1
14	前期総合復習-2
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	脳卒中のリハビリテーション-1
2	脳卒中のリハビリテーション-2
3	脊髄損傷のリハビリテーション
4	切断のリハビリテーション
5	小児のリハビリテーション
6	骨・関節疾患のリハビリテーション-1
7	骨・関節疾患のリハビリテーション-2
8	骨・関節疾患のリハビリテーション-3
9	末梢神経障害のリハビリテーション
10	パーキンソン病のリハビリテーション
11	呼吸器疾患のリハビリテーション
12	心疾患のリハビリテーション
13	後期総合復習-1
14	後期総合復習-2
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	出席、定期試験、授業態度、小テストの総合判定とする。
授業の進め方	教科書を中心に講義形式でポイントを確認しながら進め、テーマごとに国試問題の対策も行う。
注意 (学生に望むこと)	1,2年で学んだ基礎医学の内容を確認しながら進めるので、常に復習を心がけること。自身の臨床に必要と思われる内容は深く勉強してください。
テキスト・参考書	テキスト、その他

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	吉本 豊 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 3年
科目名	鍼灸臨床実技Ⅳ	曜日・時間	水曜日 17:40～

【授業概要・目標】
 臨床の現場に入った時に即戦力となるための、臨床能力を身に付ける事を目標とする。東洋医学を判りやすく解釈する事。共に、東洋医学として論理的に証を判断し、治療原則を考察し、根拠のある治療方法を導き出し、治療を行う。治療後、予後の説明と、日常生活上のアドバイスを出来るようにする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション (授業内容説明等)
2	めまいについて 1
3	めまいについて 2
4	めまいについて 3
5	疲労について 1
6	疲労について 2
7	疲労について 3
8	運動器診察と治療 1
9	運動器診察と治療 2
10	運動器診察と治療 3
11	運動器診察と治療 4
12	運動器診察と治療 5
13	運動器診察と治療 6
14	実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	排尿障害 1
2	排尿障害 2
3	排尿障害 3
4	内臓機能診察と治療 1
5	内臓機能診察と治療 2
6	内臓機能診察と治療 3
7	内臓機能診察と治療 4
8	認定実技試験準備 1
9	認定実技試験準備 2
10	認定実技試験準備 3
11	感覚機能診察と治療
12	感覚機能診察と治療
13	実技試験準備
14	実技試験
15	評価点検

評価方法	東洋医学と科学的観念を用い、正確な全体症状を診断・治療・接遇が出来るか？
授業の進め方	コーチングテクニックを用いて授業に臨み、生徒の自主的な能力向上意欲の惹起に努める。
注意 (学生に望むこと)	自分で考え、発想し、決断し、修正できるように！！
テキスト・参考書	素問・運動の神経科学・聞く技術(上)(下)

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	浦山 久嗣 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 3年
科目名	東洋医学各論Ⅱ	曜日・時間	水曜日 19:15～

【授業概要・目標】 施術者として必要な東洋医学の基本概念、診察法および治療法の概要を理解する。 東洋医学の知識や技術を総合的に運用し、適切かつ効果的に施術を行う能力を修得する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	ガイダンス、東洋医学の特徴
2	陰陽五行思想
3	気血営衛津液・精神情志
4	蔵象Ⅰ(肝胆・心小腸心包・脾胃)
5	蔵象Ⅱ(肺大腸・腎膀胱・命門三焦・相互関係)
6	経絡学総論
7	腧穴学総論
8	病因病機学概論
9	診断学Ⅰ(総論・舌診)
10	診断学Ⅱ(問診)
11	診断学Ⅲ(比較脈診)
12	診断学Ⅳ(祖脈診・脈状診)
13	弁証学Ⅰ(八綱弁証)
14	弁証学Ⅱ(気血津液弁証・病邪弁証)
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	弁証学Ⅲ(臓腑弁証①肝・心・肺)
2	弁証学Ⅳ(臓腑弁証②腎・脾・六腑)
3	弁証学Ⅴ(外感温熱弁証)
4	鍼灸医学史Ⅰ(医療と人類)
5	鍼灸医学史Ⅱ(古代・中世中国)
6	鍼灸医学史Ⅲ(古代・中世日本)
7	鍼灸医学史Ⅳ(近世中国)
8	鍼灸医学史Ⅴ(近世日本)
9	鍼灸医学史Ⅵ(近現代)
10	臨床各論Ⅰ(総論・頭痛・ストレス)
11	臨床各論Ⅱ(頸肩痛)
12	臨床各論Ⅲ(腰痛・腰下肢痛)
13	臨床各論Ⅳ(眩暈・認知症)
14	臨床各論Ⅴ(咳嗽・胸背部痛)
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	期末試験の成績を主とし、普段の授業態度等を加味して評価する。
授業の進め方	指定した教科書を主とし、不足分は配布資料を以て補う。
注意 (学生に望むこと)	予め授業分の内容は教科書に目を通しておくこと。 授業後は配布資料を確認し復習すること。
テキスト・参考書	『新版・東洋医学概論』(医道の日本社2015年刊) 『これからの「脈診」の話しよう!!』(たにぐち書店2018年刊)

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	川嶋 睦子 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 3年
科目名	東洋医学臨床論Ⅱ	曜日・時間	木曜日 17:40～

【授業概要・目標】
 各項目の適応・不適応、東洋医学的な考え方の鑑別方法について学習する。
 経絡経穴概論・東洋医学概論の復習しながら国家試験へ向けて理解を深める。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	治療総論
2	頭痛
3	顔面痛, 顔面麻痺
4	歯痛, 眼精疲労
5	鼻汁・鼻閉, 脱毛
6	めまい, 耳鳴りと難聴
7	咳嗽, 喘息
8	胸痛
9	腹痛
10	悪心と嘔吐
11	便秘と下痢
12	月経異常
13	排尿障害, インポテンツ
14	復習①
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	肩こり, 頸肩腕痛
2	肩関節痛, 上肢痛
3	腰下肢痛, 膝痛
4	運動麻痺, その他
5	高血圧, 低血圧
6	食欲不振
7	肥満
8	発熱
9	のぼせと冷え
10	不眠
11	疲労と倦怠
12	発疹, 小児の症状
13	老年医学における鍼灸療法
14	まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	小テスト, 本試験, 出欠(授業態度)など
授業の進め方	履修内容順に講義を進行する。 ただし学生の能力に応じて変更有り。
注意 (学生に望むこと)	配布プリント・課題の予習をして授業に臨んでください。
テキスト・参考書	東洋医学臨床論・新版 東洋医学概論・新版 経絡経穴概論

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	川嶋 睦子 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 3年
科目名	鍼灸臨床実技Ⅱ	曜日・時間	木曜日 19:15～

【授業概要・目標】	
①奇経の診察(四診)点と主治症を判断と治療、穴に基づき主治穴を単独または一对での治療原則の習得。	
②各疾患の病態・適応・不適応の所見の取り方の習得。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	奇経八脉の流注と病証①
2	奇経八脉の流注と病証①復習
3	奇経八脉の流注と病証②
4	奇経八脉の流注と病証②復習
5	奇経八脉の流注と病証③
6	奇経八脉の流注と病証③復習
7	奇経八脉の流注と病証④
8	奇経八脉の流注と病証④復習
9	まとめ
10	まとめ
11	鍼灸実技評価審査練習①
12	鍼灸実技評価審査練習②
13	実技試験
14	前期試験
15	解答

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	肺経・大腸経の是動病と所生病
2	上記:経穴取穴・四診
3	胃経・脾経の是動病と所生病
4	上記:経穴取穴・四診
5	心経・小腸経の是動病と所生病
6	上記:経穴取穴・四診
7	膀胱経・腎経の是動病と所生病
8	上記:経穴取穴・四診
9	心包経・三焦経の是動病と所生病
10	上記:経穴取穴・四診
11	胆経・肝経の是動病と所生病
12	上記:経穴取穴・四診
13	実技試験
14	後期試験
15	解答

評価方法	症例報告、授業への(出席、態度含)取り組みと筆記、実技試験との総合判定
授業の進め方	履修内容順に講義を進行する。ただし学生の能力に応じて変更有り。授業内で診断・手技の口頭質問あり。
注意 (学生に望むこと)	総合的診断・技術能力を高めるために課題を提出。
テキスト・参考書	教科書(東洋医学概論・東洋医学臨床論・経絡経穴概論・解剖その他), 配付資料

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	國分 俊繁 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 3年
科目名	臨床医学各論Ⅱ	曜日・時間	金曜日 17:40～

【授業概要・目標】
 施術者として必要な現代医学の立場からみた系統別疾患の診断及び治療に関する基礎的知識について教授し、これを施術に応用する能力と態度を修得させる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	整形外科的治療法
2	骨代謝疾患と骨腫瘍
3	筋・腱の疾患
4	形態異常について
5	脊椎疾患について
6	脳血管疾患
7	感染性疾患・脊髄疾患
8	基底核変性疾患
9	痴呆(認知症)疾患
10	筋疾患
11	運動ニューロン・末梢神経疾患
12	リウマチ・膠原病疾患
13	小児疾患
14	一般外科・麻酔科
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	婦人科疾患
2	皮膚科疾患
3	眼科・耳鼻科疾患
4	精神科疾患・心療内科
5	練習問題Ⅰ
6	練習問題Ⅱ
7	練習問題Ⅲ
8	練習問題Ⅳ
9	練習問題Ⅴ
10	練習問題Ⅵ
11	練習問題Ⅶ
12	練習問題Ⅷ
13	練習問題Ⅸ
14	練習問題Ⅹ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	筆記試験による評価とする。
授業の進め方	板書・配布資料
注意 (学生に望むこと)	解剖学や生理学の学習内容がベースになるので復習しておくこと。
テキスト・参考書	テキスト:臨床医学各論

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	國分 俊繁 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 3年
科目名	東洋医学応用概論	曜日・時間	金曜日 19:15～

【授業概要・目標】 はりきゅう師に必要な知識を習得する事。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(1)
2	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(2)
3	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(3)
4	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(4)
5	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(5)
6	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(6)
7	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(7)
8	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(8)
9	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(9)
10	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(10)
11	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(11)
12	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(12)
13	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(13)
14	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(14)
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(15)
2	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(16)
3	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(17)
4	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(18)
5	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(19)
6	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(20)
7	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(21)
8	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(22)
9	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(23)
10	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(24)
11	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(25)
12	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(26)
13	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(27)
14	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(28)
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	筆記試験による。
授業の進め方	問題演習・解説
注意 (学生に望むこと)	特になし
テキスト・参考書	プリントを配布、各項目の教科書・参考書を持参する事

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	亀井 啓 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 3年
科目名	東洋医学臨床論Ⅲ	曜日・時間	土曜日 13:10～

【授業概要・目標】
 スポーツ東洋療法に関する専門的知識と技術向上獲得を目的とする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	テーピング実技
3	スポーツ東洋療法-1 総論
4	スポーツ東洋療法-2 実際
5	スポーツ東洋療法-3 現状
6	スポーツ東洋療法-4 鑑別診断
7	各論-1
8	各論-2 競技場で遭遇しやすい疾患
9	各論-3 整形外科疾患 頸部損傷、コンパートメント症候群
10	各論-4 内科疾患 かぜ、アトピー性皮膚炎
11	各論-5 内科疾患 かぜ、アトピー性皮膚炎
12	各論-6 身体各部位に発生しやすい傷害と治療
13	各論-7 身体各部位に発生しやすい傷害と治療
14	前期総括
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	競技種目別に発生しやすい傷害と対処法-1 サッカー
2	競技種目別に発生しやすい傷害と対処法-2 バレー、バスケット
3	競技種目別に発生しやすい傷害と対処法-3 陸上、水泳
4	競技種目別に発生しやすい傷害と対処法-4 ゴルフ、ヨット
5	競技種目別に発生しやすい傷害と対処法-5 テニス、スキー
6	競技種目別に発生しやすい傷害と対処法-6 柔道、レスリング
7	競技種目別に発生しやすい傷害と対処法-7 剣道、野球、ラグビー
8	コンディショニング
9	疲労回復
10	スポーツ(運動)生理学
11	トレーニング、アスレチックリハビリテーション
12	スポーツと栄養、熱中症
13	ボランティア活動について
14	後期総括
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	前期、後期筆記試験、実技試験、小テスト(実力試験)、授業態度、日常態度全てに鑑みて判断する。
授業の進め方	テキスト、参考図書の充実とその利用拡大により視野を広げる。
注意 (学生に望むこと)	日常における予習復習の励行。授業に関係なしに貪欲に様々な医療知識を吸収しようという姿勢を期待する。
テキスト・参考書	スポーツ東洋療法ハンドブック、その他資料配布

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	宍戸 新一郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 3年
科目名	鍼灸臨床実技Ⅲ	曜日・時間	土曜日 14:50～

【授業概要・目標】
 施術者として必要な施術に関する知識と技能について教授し、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を修得させる。
 はりきゅう治療の意義と役割、施術者の心構え、衛生管理、施術室の管理、リスク管理など

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	実技のオリエンテーション
2	はりきゅう実技復習Ⅰ
3	はりきゅう実技復習Ⅱ
4	腰部疾患に対する実技訓練Ⅰ
5	腰部疾患に対する実技訓練Ⅱ
6	肩関節疾患に対する実技訓練Ⅰ
7	肩関節疾患に対する実技訓練Ⅱ
8	頸上肢痛に対する実技訓練Ⅰ
9	頸上肢痛に対する実技訓練Ⅱ
10	膝関節疾患に対する実技訓練Ⅰ
11	膝関節疾患に対する実技訓練Ⅱ
12	実技練習
13	実技練習
14	実技練習
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期の復習
2	はりきゅう実技試験訓練
3	はりきゅう実技試験訓練
4	はりきゅう実技試験訓練
5	はりきゅう実技試験訓練
6	特殊鍼法
7	特殊鍼法
8	特殊鍼法
9	はりきゅう応用治療実技
10	はりきゅう応用治療実技
11	はりきゅう応用治療実技
12	はりきゅう応用治療実技
13	はりきゅう応用治療実技
14	はりきゅう応用治療実技
15	評価点検

評価方法	出席・定期試験により評価する。
授業の進め方	総合臨床治療技術の習得および認定実技試験の合格を目指す。
注意 (学生に望むこと)	施術者・患者役となるので自己健康管理に留意すること。
テキスト・参考書	なし

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	古川 雄一郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸医療科第二部 3年
科目名	鍼灸理論 I	曜日・時間	土曜日 16:30～

【授業概要・目標】	
①1年次に学習した鍼灸の基礎知識・リスク管理について復習をし、より理解を深める	
②「鍼灸がなぜ効くのか？」を鍼灸の一般治効理論や関連学説を通して理解する	
そして、患者さんに説明できるようになることを目標とする	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	第9章 鍼灸治効の基礎
3	第9章 鍼灸治効の基礎
4	第9章 鍼灸治効の基礎
5	第9章 鍼灸治効の基礎
6	第10章 鍼灸療法の一般治効理論
7	第10章 鍼灸療法の一般治効理論
8	第10章 鍼灸療法の一般治効理論
9	第10章 鍼灸療法の一般治効理論
10	第10章 鍼灸療法の一般治効理論
11	第11章 関連学説
12	第11章 関連学説
13	第11章 関連学説
14	前期まとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	第1章 概論
2	第2章 鍼の基礎知識
3	第3章 刺鍼の方法と術式
4	第4章 特殊鍼法
5	第5章 灸の基礎知識
6	第6章 灸術の種類
7	第7章 鍼灸の臨床応用
8	第8章 リスク管理
9	鍼灸理論 国試演習①
10	鍼灸理論 国試演習②
11	鍼灸理論 国試演習③
12	鍼灸理論 国試演習④
13	鍼灸理論 国試演習⑤
14	後期まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	前期:筆記試験による、後期:筆記試験による その他:出席状況、授業態度なども考慮する
授業の進め方	教科書に基づいてプリントで進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意 (学生に望むこと)	鍼灸治効機序は、生理学が主体となっているため、生理学の復習を重ねて、基礎を身につけて下さい
テキスト・参考書	『はりきゅう理論』『はりきゅう実技<基礎編>』(東洋療法学校協会編) 『生理学 第3版』(東洋療法学校協会編)

2023年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	専任教員	学科・年	鍼灸医療科第二部 3年
科目名	臨床実習Ⅳ	曜日・時間	一曜日 一時限

【授業概要・目標】 ①患者と適切なコミュニケーションがとれる。 ②施術準備(補助)ができる。 ③基本的な事項について診療録に記載ができる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習前授業(Ⅰ)
2	臨床実習前授業(Ⅱ)
3	臨床実習(1)
4	臨床実習(2)
5	臨床実習(3)
6	臨床実習(4)
7	臨床実習(5)
8	臨床実習(6)
9	臨床実習(7)
10	臨床実習(8)
11	臨床実習(9)
12	臨床実習(10)
13	臨床実習(11)
14	臨床実習(12)
◆	-
15	臨床実習(13)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習(14)
2	臨床実習(15)
3	臨床実習(16)
4	臨床実習(17)
5	臨床実習(18)
6	臨床実習(19)
7	臨床実習(20)
8	臨床実習(21)
9	臨床実習(22)
10	臨床実習(23)
11	-
12	-
13	-
14	-
◆	-
15	-

評価方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備(補助)などを中心に行う。
注意 (学生に望むこと)	積極的に実習に参加してもらいたい。
テキスト・参考書	なし

科目名	学年	授業時間数	教員名	実務経験	業務内容
解剖学Ⅰ	1	60	宍戸 新一郎	20年以上	治療院に勤務した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
解剖学Ⅱ	1	60	国分 壮一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
解剖学Ⅲ	1	60	高橋 務	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
生理学Ⅰ	1	60	伊東 太郎	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
生理学Ⅱ	1	60	古川 雄一郎	5年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
衛生学・公衆衛生学	1	60	古川 雄一郎	5年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
東洋医学概論Ⅰ	1	60	佐藤 光恵	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学概論Ⅱ	1	60	神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
経絡経穴概論Ⅱ	1	30	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸基礎実技Ⅰ	1	60	今野 弘務	10年以上	治療院に勤務した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
手技療法Ⅰ	1	60	神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
運動学	2	60	高橋 務	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
病理学概論	2	60	伊東 太郎	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
臨床医学総論	2	60	高橋 武彦	20年以上	病院、治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
臨床医学各論Ⅰ	2	60	古川 雄一郎	5年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
東洋医学各論Ⅰ	2	60	今野 弘務	10年以上	治療院に勤務した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
臨床経穴論	2	60	柏倉 利一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋療法診断法Ⅰ	2	60	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸応用実技Ⅰ	2	60	亀井 啓	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸の臨床をおこなっている。
鍼灸応用実技Ⅱ	2	60	山田 秀一郎	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸応用実技Ⅲ	2	60	吉本 豊	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
手技療法Ⅱ	2	60	糟谷 俊彦	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床医学各論Ⅱ	3	60	國分 俊繁	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
リハビリテーション医学	3	60	高橋 武彦	20年以上	病院、治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
鍼灸理論Ⅰ	3	60	古川 雄一郎	5年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
東洋医学各論Ⅱ	3	60	浦山 久嗣	30年以上	治療院を開業した経験を持つ。
東洋医学臨床論Ⅰ	3	60	国分 壮一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学臨床論Ⅱ	3	60	川嶋 睦子	20年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学臨床論Ⅲ	3	60	亀井 啓	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸の臨床をおこなっている。
東洋医学応用概論	3	60	國分 俊繁	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅰ	3	60	国分 壮一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅱ	3	60	川嶋 睦子	20年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅲ	3	60	宍戸 新一郎	20年以上	治療院に勤務した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅳ	3	60	吉本 豊	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
合計		2010			